

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

開催日時	令和2年9月23日（水）18:25～19:07
開催場所	茨城県立中央病院 研修棟 A
出席委員名	清嶋護之、鈴木保之、武安法之、狩野俊幸、三橋彰一、荒木眞裕、菅谷明德、増田淳之、松村哲也、鈴木美加、野上達也、秋山順子、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>継続試験 MSD 株式会社の依頼による</p> <p>議題① 「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題② MSD 株式会社の依頼による 「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題③ MSD 株式会社の依頼による 「MK-3475 第Ⅱ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題④ MSD 株式会社の依頼による 「胃癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>

議題⑤	<p>MSD 株式会社の依頼による</p> <p>「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」</p> <p>国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p>
審議結果：	承認
議題⑥	<p>MSD 株式会社の依頼による</p> <p>「切除不能進行又は再発食道癌（腺癌又は扁平上皮癌）患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相臨床試験」</p> <p>治験終了について及び開発の中止等について報告した。</p>
議題⑦	<p>EAファーマ株式会社の依頼による</p> <p>「AJM300 の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験（2）」</p> <p>治験に関する変更について審議した。</p>
審議結果：	承認
議題⑧	<p>日本イーライリリー株式会社の依頼による</p> <p>「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第Ⅲ相試験」</p> <p>国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>
審議結果：	承認
議題⑨	<p>ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による</p> <p>「未治療の多発性骨髄腫患者を対象とした BMS-901608 の国内第 2 相臨床試験」</p> <p>海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p>
審議結果：	承認
議題⑩	<p>中外製薬株式会社の依頼による</p> <p>「非小細胞肺癌患者を対象とした MPDL3280A の第Ⅲ相試験」</p> <p>国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>
審議結果：	承認

議題⑪	大鵬薬品工業株式会社の依頼による 「高度催吐性抗悪性腫瘍薬（シスプラチン）を投与する患者を対象とした Pro-NETU の第Ⅲ相試験」 治験終了について報告した。
議題⑫	アッヴィ合同会社の依頼による 「中等症から重症の掌蹠膿疱症を有する日本の成人被験者を対象とした、 リサンキズマブの第Ⅲ相多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検試験」 海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当 性について審議した。 審議結果：承認